

2020年度県有施設における温室効果ガス排出量について

1. 2020年度県有施設における温室効果ガス排出量

2020年度の県有施設における温室効果ガス総排出量は110,767t-CO₂でした。「群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」（2011-2020）の基準年度である2007年度と比べ、16.3%減少しており、同計画の削減目標*を達成しました。

※2020年度の県有施設における温室効果ガス排出量：2007年度比11%削減

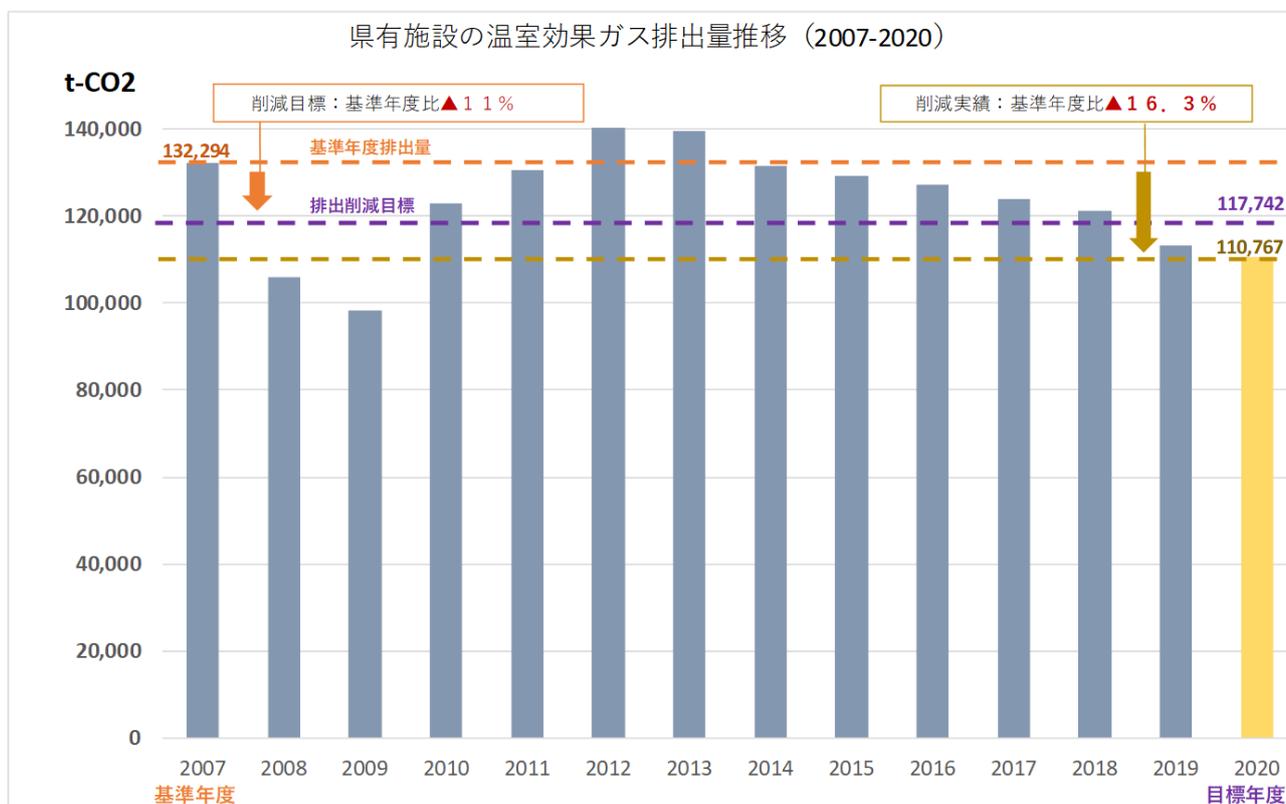


図1 県有施設の温室効果ガス排出量の推移

(1) 県有施設の温室効果ガス総排出量

2007年度 総排出量 (基準年度) (A)	2019年度 総排出量 (前年度) (B)	2020年度 総排出量 (C)	前年度比		基準年度比	
			増減 (C-B)	増減率	増減 (C-A)	増減率
t-CO ₂ 132,294	t-CO ₂ 113,139	t-CO ₂ 110,767	t-CO ₂ ▲2,372	% ▲2.1	t-CO ₂ ▲21,527	% ▲16.3

(2) 前年度比で減少した要因

- ①新型コロナウイルス感染症拡大による一部施設の閉館や県立学校の休校により、消費エネルギー量が減少しました。
- ②リモート会議の普及等、ワークスタイルの変化に伴い、消費エネルギー量が減少しました。

【参考】主なエネルギー使用量

項目	2007年度	2019年度	2020年度		
	(基準年度)	(前年度)		前年度比	基準年度比
電気	208,964 千 kWh	180,416 千 kWh	176,559 千 kWh	▲2.1%	▲15.5%
重油	4,380 kL	2,618 kL	2,278 kL	▲13.0%	▲48.0%
都市ガス	4,238 千 m ³	3,182 千 m ³	3,483 千 m ³	9.5%	▲17.8%
ガソリン(車)	3,175 kL	2,437 kL	2,293 kL	▲5.9%	▲27.8%
灯油	2,153 kL	1,614 kL	1,525 kL	▲5.5%	▲29.2%

2. 今後の方針

「群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030」において、2030年度の県有施設における温室効果ガス排出量の削減目標を、基準年度（2013年度）比で44%削減としました。

この目標を達成するため、全職員による省エネルギー行動のさらなる徹底等により、エネルギー使用量の削減に取り組むほか、高効率機器の導入による省エネルギー改修や再生可能エネルギー100%電気の導入推進などにより、5つのゼロ宣言の実現に向け、全庁を挙げて温室効果ガス排出量の削減を目指します。

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

- 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」
- 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」
- 宣言3 災害時の停電 「ゼロ」
- 宣言4 プラスチックごみ 「ゼロ」
- 宣言5 食品ロス 「ゼロ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう